

主な内容

三番瀬海岸親水施設
ってなに? 2・3面

平和への願い ほか 8面

発行/浦安市
所在/〒279-8501 千葉県浦安市
猫実一丁目1番1号
編集/企画部広聴広報課
☎047-351-1111(代表)
<https://www.city.urayasu.lg.jp>

各記事に掲載しているIDを市ホームページの「広報ページID検索」に入力すると、該当のページが出ます。これにより、記事を探す手間を省けます

浦安コロナモニタリング指標

警戒レベル黄色

新型コロナウイルスの感染が拡大しています。手洗い、マスクの着用、換気などを行い、感染拡大防止にご協力ください。市では、感染拡大の注意を呼びかけるため、公共施設に黄色 ID 1029062 の旗を掲揚しています。

三番瀬 海岸親水施設が オープン

三番瀬は、子どもたちをはじめ、市民の皆さんに干潟に生息する生き物の生態など、浦安の自然環境を教えてくれる貴重な場所です。
8月下旬には、浦安の自然環境をより身近に感じていただくために三番瀬海岸親水施設がオープンします。

問 環境保全課 ☎352・6482



光化学スモッグに注意



新型コロナウイルスの感染が拡大しています。引き続き、感染対策の徹底をお願いいたします。

ただ、この夏は例年にも増して暑くなりそうですので、水分補給と適切な室温管理、リスクの低い場所ではマスクを外すなど、熱中症への対策も併せてお願いいたします。

夏は強い日差しとともに「光化学スモッグ」が発生しやすい季節であり、令和3年度は3件、本年度はこれまでに2件注意報が発令されています。

光化学スモッグ注意報などは県が発令しますが、浦安市を含む葛南地域に発令された場合は、市の防災行政無線による放送や重要なお知

らせメールで市民の皆さんに注意喚起を呼びかけています。

光化学スモッグが発生すると、目がチカチカしたり涙が出たりする刺激症状や、のどの痛みやいがいがする感じ、息苦しくなるといった呼吸器の粘膜刺激症状など、健康への影響が出る場合があります。

注意報が発令されたときは、できるだけ屋外での活動を避け、屋内活動に切り替えてください。体調に異変を感じたら、洗眼、うがいを行い、症状が重い場合は医療機関を受診してください。

浦安市には、大気汚染物質の発生源となる工場や事業者は少ないものの、千葉県と都心の大

動脈である首都高速湾岸線、国道357号、やなぎ通りなどの交通量の多い道路があり、自動車の排気ガスの影響を受けやすい状況があります。

このため、市が設置する猫実一般環境大気測定局と、県が設置する美浜自動車排出ガス測定局の2カ所で、光化学オキシダントやPM2.5などの物質について常時監視を行っています。

市では、こうした大気の監視体制のほか、低公害車の導入などを行うとともに、環境負荷の少ない公共交通網の整備や、自転車利用の促進に引き続き努めてまいります。

浦安市長 内田 悦嗣

三番瀬海岸親水施設ってなに？

三番瀬海岸親水施設は、三番瀬環境観察館に隣接し、どなたでも利用できる展望デッキと市や学校などの環境学習事業で利用できる階段護岸で構成されています。

展望デッキからは、三番瀬の海を一望することができ、潮の満ち引きによる「日の出干潟」や季節により飛来する渡り鳥などを観察することができます。



展望デッキ



階段護岸

階段護岸の利用

階段護岸に立ち入ることができる場合は、三番瀬の自然観察および環境学習など、環境の保全を目的として行う次の事業に限りです。

- 市が主催する事業
- 学校などが行う教育のための事業
- 市民活動団体に登録しており、三番瀬に関する事業を主たる目的とする団体が行う事業で、市が共催または後援を承認したもの

利用上の注意



この施設は千葉県から護岸の一部を占用して整備しました。展望デッキを超えて許可なく階段護岸に立ち入ることはできません。

三番瀬ってこんなところ

三番瀬は、東京湾の一番奥にある干潟と水深の浅い海域で、浦安市、市川市、船橋市、習志野市に面しています。元は旧江戸川の河口にあった広大な干潟でしたが、現在は埋め立てなどにより約1800haの広さが残っています。

かつては、アサリやハマグリ、ハゼ、カレイなどの魚介類が干潟から湧くようにとれたことから「豊じょうの海」とも呼ばれていました。現在でもスズキやコノシロ、ホンビノスガイなどがとれます。また、のりの養殖も行われています。

ほかにもゴカイやカニなどが生息し、それらをえさとする水鳥も多くやってきます。三番瀬環境観察館前にも「日の出干潟」と呼ばれる小さな干潟があり、季節ごとにさまざまな生き物に出会うことができます。



三番瀬に生息する生き物

ムシガニ

汽水域から内湾に生息するガザミ(ワタリガニ)の仲間。春から秋にかけて岸に近い転石帯で多く見られ、真冬になると温度の安定した深場へ移動します。名前のとおり、石のように硬い頑丈な殻を持つため、市場に流通することはほとんどありませんが、とてもよいだしが出るため、好んで食べる漁師さんもいるようです。



アサリ

日本各地の干潟や砂地に生息する食用としてもおなじみの二枚貝。貝から水管と言われる管を出し、海水に含まれる細かい有機物などをこし、栄養にしています。東京湾では貝殻の色や模様のバリエーションが豊富で、「木更津ブルー」と呼ばれるきれいな青色の個体も見られます。



ハゼ

河川の下流から干潟に生息するハゼの仲間です。古くから江戸前の重要な食材であり、ハゼ釣りは秋の風物詩として、親しまれてきました。ふ化間もないころは水中を漂いながらプランクトンを主食に成長します。2cm程になると、活動範囲を水底に移し、ゴカイなどの底生生物や藻類などさまざまなものを食べます。



三番瀬環境観察館

☎711・1601

三番瀬環境観察館では野鳥や干潟に生息する生き物を含む三番瀬の自然観察ができ、環境学習の場としても活用できる施設です。

開館時間 午前9時～午後5時 所 日の出7-9-1

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、その翌平日は休館)、祝日の翌日、年末年始

多目的室の利用

予約方法 ▶環境保全に関する活動を行う団体…3カ月前の1日から
※先着順 ▶その他の団体…2カ月前の1日から

費用 下表のとおり

	市内で活動する団体	その他の団体
第1多目的室(定員8人)	1時間200円	1時間410円
第2多目的室(定員22人)	1時間380円	1時間770円



8月の環境イベント 干潟で夏の海を体験しよう

時	8月28日(日)午前10時45分～午後0時15分、午前11時30分～午後1時
対象	市内在住の小学生とその保護者、先着各20人
内容	貝探しやカニ取りなど干潟の散策
申込	8月9日(火)午前9時から、三番瀬環境観察館ホームページ https://www.ces-net.jp/sanbanze/ から申し込み
問	三番瀬環境観察館 ☎711・1601



ID 1036633